

## 「福井ふるさと元気宣言」推進に関する政策合意

私は、知事の政策スタッフとして、「福井ふるさと元気宣言」に掲げられた政策等を実現するため、次に掲げる施策・事業について重点的に実施することを西川一誠知事と合意します。

平成28年4月

福井県知事 西川 一誠  
産業労働部長 片山 富士夫

28年度目標（30年度目標）

### 28年度の施策

#### 1 革新と創造で伸びゆく福井の企業

##### ◇福井発の「ローカル産業革命」

###### ○産業革新の一貫システム【共同研究】

- ・「ふくいオープンイノベーション推進機構」において、産業技術総合研究所やNEDOとの連携により企業ニーズを発掘し、**新たな共同研究プロジェクトを進めます。**

（平成27年度 15件）

15件増 累計30件（4年間計60件）

- ・「福井ものづくり改善インストラクタースクール」を9月に開講し、東京大学との連携により、生産現場における在庫管理の効率化などの**業務改善指導ができる人材を養成**します。

（平成27年度 ー ）

10人（3年間計30人）

## ○地域連携・業種横断の技術革新

- ・ 県民衛星の平成31年度打上げを目指して、県内企業を主体とした技術研究組合を7月を目途に設立し、本年秋から設計に着手します。また、東京大学等に技術者を派遣し、企業の製造ノウハウ習得を促進します。
- ・ 人工衛星から得られるデータについて、防災、農業、環境など幅広い観点から利活用方をまとめます。
- ・ **宇宙産業への県内企業の参入拡大**や、県民の関心向上のためのセミナーを7月に東京大学の協力を得て開催し、産業人材の育成やサイエンス教育につなげます。  
(平成27年度 25社・団体)

10社・団体増 累計35社・団体(4年間計50社・団体)

- ・ 県内繊維企業の業種連携や県域を越えた企業連携による新商品開発・国内外への展示会出展等の支援により、共同での開発・販売体制を確立し、**売上拡大**につなげます。  
(平成27年度 2.1億円)

2.4億円 累計4.5億円(4年間計10億円)

- ・ 病院の医療ニーズと企業が有する技術シーズとのマッチング等を行い、**医療・健康関連機器の新たな製品化**につなげます。  
(平成27年度 12件)

12件増 累計24件(4年間計48件)

- ・ 炭素繊維補強部材を用いた橋梁補強技術の開発を進めるとともに、企業の建築土木分野への参入を目指した新たな研究開発活動を支援します。

## ○世代をつなぐ「職人」技術

- ・「第33回伝統的工芸品月間国民会議全国大会」を11月に開催します。これを契機に、郷土工芸品の追加指定や技術・技能の継承、観光誘客を強化します。
- ・サンドーム福井の管理会議棟を「ものづくりキャンパス」として11月までに整備し、職人やデザイナーを対象とした実践的な講座を開催するなど、ものづくり人材の育成拠点として活用します。
- ・越前ものづくりの里プロジェクトについては、「**伝統工芸職人塾**」の**カリキュラムを充実して後継者を育成**するとともに、全国大会開催や展示会出展等により産地の認知度を高め、売上拡大につなげます。  
(平成27年度 25人)

新規・継続計 25人 累計延 50人 (4年間延 80人)

- ・越前古窯拠点施設については、平成29年秋の竣工を目指して建築工事を進めるとともに、本年秋までに越前焼の発信や陶芸村の誘客拡大につながる活用方策をまとめます。

## ◇地域ビジネスを積極的に応援

### ○小さな企業の元気応援

- ・小規模企業等の事業計画策定から実行までの一貫した支援を行い、事業承継等の課題解決や各企業の新商品開発・新分野展開を進めます。  
(平成27年度 1,997社)

2,000社増 累計 3,997社 (4年間計 7,600社)

- ・ふくい産業支援センター嶺南サテライトオフィスを拠点に、観光関連事業者を含む嶺南企業への巡回訪問や経営相談、専門家派遣による**経営改善指導**などを行います。また、商工団体等との連携を強化するため、年度内に「アクアトム」へ移転します。  
(平成27年度 141社)

150社増 累計 291社 (4年間計 500社)

### ○おもてなし商業エリアの創出

- ・おもてなし商業エリアとして新たに認定する地域を増やし、外部専門家を活用したまちづくり計画に基づく飲食店等の改修やソフト支援により、県内外からの誘客につなげます。

### ○中小企業者への金融支援

- ・新商品開発等に取り組む中小企業者向けの融資制度を創設するとともに、経営安定資金などセーフティネット資金の要件緩和により中小企業者の円滑な資金繰りを支援します。

## ◇県・市町一体の企業誘致

### ○本社機能の誘致と産業団地の整備促進

- ・年間約千社を訪問し、高速交通ネットワークの充実など県内立地の魅力をPRすることにより、先端産業・物流産業、敦賀港を活用した輸出型産業の**企業誘致**を進めます。また、企業の本社機能の移転等を働きかけ、女性や若者に魅力のある職場を増やします。  
(平成27年 32社・8業種)

32社増 累計64社(4年間計120社)  
立地企業の業種数 10業種(ー)

- ・嶺南地域については、美浜町の若狭美浜インター産業団地の分譲を4月から開始し、若狭さとうみハイウェイに近い利点等を活かして、早期の企業誘致を進めます。また、敦賀市の田結地区においては、用地買収に着手し、30年度の分譲開始を目指します。
- ・奥越地域については、大野市の富田地区における産業団地の整備に着手し、今年度から用地測量等を行うなど、32年度の分譲開始を目指します。

### ○公営企業経営戦略の策定

- ・公営企業の基本方針や今後10年間の投資・財源計画をまとめた経営戦略を策定し、工業用水道などの事業を将来にわたって安定的に運営します。

◇つかめ国内外のビジネス・チャンス【部局連携】

○国体・五輪を機にビジネス拡大

- ・国体・東京五輪に向け、Made in Fukui の新商品開発を支援します。また、農林水産物を含め調達情報の収集や関係機関等への売込みを強化し、販売拡大につなげます。  
(平成 27 年度 ー )

ー (3 億円)

- ・眼鏡や繊維等の技術を活用したウェアラブル製品の販路開拓を支援し、県内企業の関連産業への進出を促進します。また、国体会場における運用試験を通じ、スポーツ関係者等に対し有用性を周知します。  
(平成 27 年度 17 件)

20 件増 累計 37 件 (4 年間計 80 件)

2 「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ

◇「ふくい食ブランド」を地産・外商【部局連携】

○首都圏における県産品の販路拡大

- ・ふくい南青山 291 と食の國 福井館の新たな運営方針のもと、テレビを中心とした情報発信の強化、北陸三県共同イベントや県内市町との特産品フェアを開催するなど、売上拡大につなげます。  
(平成 27 年度 3 億 2,523 万円)

3 億 3,000 万円 (4 億円)

- ・アンテナショップの活用や大手食品卸会社等との連携により、首都圏のニーズに合った商品の開発・改良や販路拡大を行い、県産食品の新規取引額を増やします。  
(平成 27 年度 5,070 万円)

5,400 万円 (6,000 万円)

### ○東南アジア等への海外展開の支援

- ・繊維・眼鏡などの業種別説明会を7月から開催し、関税撤廃等のTPP効果の活用を県内企業に促すことにより、TPP参加国等への輸出を増やします。
- ・海外事務所駐在員による現地最新情報の提供や、ファンド等を活用した国際競争力のある商品開発、国際展示会出展による販路開拓を進め、**県内企業のアジアへの新規輸出、拠点開設**を支援します。  
(平成27年度 輸出41件、拠点16件)

輸出42件増 累計83件(4年間計160件)  
拠点17件増 累計33件(4年間計60件)

- ・東南アジア諸国等の政治文化・経済状況に関する講演会の開催や観光案内等を行う通訳ボランティアの育成など、福井県国際交流協会と協力し、県内企業の国際展開支援や外国人旅行者への対応を強化します。

### ○海外に売り込む「福井の食」

- ・商工、農林水産業、観光の関係者が一体となり、「ふくい食輸出サポートセンター」によるシンガポール等での食文化提案会に合わせた商談会を実施し、伝統工芸品や県産食品の輸出を拡大します。

### 3 人口減少に歯止めをかける徹底戦略

#### ◇幸福日本一福井へ 移住・定住戦略【部局連携】

##### ○女性・若者に活躍の場・しごと創造

- ・移住定住に関する相談会やITベンチャー企業向けの新たな誘致セミナーを都市圏で開催します。また、相談窓口の設置や先輩企業家との意見交換会を通じ、**創業数**を増やします。

(雇用保険新規適用事業所数 平成27年度 578件)

600件増 累計1,178件(4年間計2,400件)

##### ○地場産業の宝庫・福井でチャレンジの夢ひらく

- ・県内経済団体等からの人材情報の収集やヘッドハンティングなどの直接的な働きかけにより、都市圏からの高度な技術やマネジメント能力を有する人材の**U・Iターン就職**を促進します。

(平成27年度 11人)

20人増 累計31人(4年間計86人)

- ・他県における高校生向け企業説明会への県内企業の参加等を労働局とともに支援するほか、就活サポーターやプラス1雇用宣言企業などと連携し、**県内企業の人材確保および若年者の流入**を促進します。

(平成27年度 - )

20人増(3年間計60人)

#### ◇進学・就職の地元志向にインセンティブ【部局連携】

##### ○県内企業への就職を促進

- ・合同就職面接会を労働局とともに集中的に開催し、福井のものづくり企業の魅力や暮らしやすさをPRします。また、大学連携センターにおいてセミナーを開催するなど、**県内企業への就職**を促進します。

(平成27年度 1,249人(2月末時点))

1,350人増 累計2,599人(4年間計5,400人)

## ◇女性の元気が福井の元気

### ○女性が活躍できる職場環境づくりの推進

- ・企業に社会保険労務士などの専門家を派遣し、育児や介護と仕事を両立できる短時間勤務制度や離職女性の再雇用制度など、女性が働きやすい社内制度の導入を促進します。

(平成 27 年度 30 社)

30 社増 累計 60 社 (4 年間計 120 社)

## 4 福井から人材育成

### ◇産業人材の育成・誘致システム

#### ○中小企業産業大学校、産業技術専門学院の革新

- ・産業技術専門学院の指導員や施設・設備等を活用した連携講座を中小企業産業大学校に新設します。また、伝統工芸職人塾等の人材育成システムと連携するなど、総合的な産業人材育成機関の機能を拡大します。

## 5 先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献

### ◇みずから伸ばす「健康寿命」

#### ○健康長寿もうひと働き

- ・「シニア人材活躍支援センター」の就職コーディネーターによる専門的な技術や経験を持つシニア人材と県内企業とのマッチングを行い、企業が求める人材を確保します。

(平成 27 年度 19 人)

30 人増 累計 49 人 (4 年間計 124 人)



## 6 美しい県土、楽しく便利なまちの形成

### ◇道路・港湾の重点整備と利用促進【部局連携】

#### ○敦賀港・福井港の利用促進

- ・県内や関西・中京の荷主企業への営業活動や、敦賀港・福井港を紹介する都市圏でのセミナー開催などを進め、県内港湾への利用転換と取扱貨物量を増やします。

(平成 27 年 敦賀港外貿コンテナの取扱貨物量 29,400TEU)  
30,000TEU (35,000TEU)

(平成 27 年 福井港の取扱貨物量(石油製品・重油を除く) 60.5 万トン)  
63 万トン (70 万トン)

- ・テクノポート福井においては、防風林帯の産業用地造成工事を完了します。また、公共用地の転用や転売可能な企業の未利用地の活用を進めます。

#### ○クルーズ客船の誘致・受入

- ・経済、観光など約 30 の団体で構成する「海外クルーズ客船誘致協議会(仮称)」を 8 月までに設置し、県内の受入れ体制を整備するとともに、船社や代理店への売り込みを強化し、**海外クルーズ客船の初寄港や国内クルーズ客船の寄港**を増やします。

(平成 28 年 寄港決定回数 5 回)

6 回 (10 回)